

「原発依存大転換のとき」学習講演会

東日本大震災による東京電力・福島第一原発の重大事故は、私たちの命と暮らしを脅かしています。放射性物質は私たちの体にどのような影響を与えるのでしょうか。

また、40年を超える古い原発も含めた再稼働が計画されています。事故の収束がはかられていない中では、再稼働よりも再生可能エネルギーへの転換をすすめるべきではないでしょうか。

世界は今、原発ゼロをめざす動きが広がっています。岩手県でも脱原発の世論をつくり運動を広げるため、原発に疑問を持ち発信を続けているお2人に来ていただくことになりました。ぜひご参加ください！

1月25日(水)

10:30~12:30

盛岡市 サンビル7階ホール

ただ
合意なき国策を糾す
～エネルギー・デモクラシーを求めて～



経済評論家
内橋 克人さん

講師プロフィール

1932年神戸市生まれ。新聞記者を経て経済評論家。90年代から一貫して市場原理至上主義、新自由主義的改革に対して警鐘を鳴らしてきた。国連『国際協同組合年全国実行委員会』代表。主な著書に『原発への警鐘』（講談社文庫）など多数。近著に『大震災のなかで—私たちは何をすべきか』（編著・岩波新書）などがある。

2月17日(金)

10:30~12:30

盛岡市 サンビル7階ホール

原発はなぜ危ないか (仮)
—放射性物質は体や環境の中で
今後どうなっていくのか?—



安齋科学平和事務所所長
立命館大学国際平和
ミュージアム名誉館長
立命館大学名誉教授
安齋 育郎さん

講師プロフィール

1940年東京生まれ。東京大学工学部原子工学科卒、同大学院修士・博士課程を修了し、工学博士。平和・核・原発問題などについてのコメンテーターとして各種マスコミに登場。主な著書に『放射能そこが知りたい』、『福島原発事故—どうする日本の原発政策』（かもがわ出版）などがある。

どちらの学習会も参加無料 保育あり (要予約・1歳以上・200円)

※開催日の5日前までにお申し込み下さい。

主催：原発依存大転換のとき 県民世論を広げる二大学習講演会を成功させる会

i 女性会議岩手県本部、岩手県学校生活協同組合、岩手県教職員組合、岩手県原爆被害者団体協議会、岩手県高等学校教職員組合、岩手県消費者団体連絡協議会、岩手県自治体労働組合総連合、岩手県生活協同組合連合会、岩手県退職女性教職員の会、岩手県母親大会連絡会、岩手県母と女性教職員の会、岩手県労働組合連合会、いわて食・農・地域を守る県民運動ネットワーク、いわて生活協同組合、岩手地域総合研究所、岩手農民大学、JA 岩手県女性組織協議会、新日本婦人の会岩手県本部、非核の政府を求める岩手の会、東日本大震災津波救援・復興岩手県民会議、平和・民主・革新の日本をめざす岩手の会、盛岡医療生活協同組合 (50音順・12月12日現在22団体)

お申し込み・お問い合わせ 岩手県消費者団体連絡協議会 TEL019-684-2225 FAX019-684-2227